





歌も披露してくださった倍賞さん

引き続き午後からは、さつま町民大会が「ひと・自然 元気がややく さつま町」を大会テーマに開催され、会場は溢れるほどの参加者で賑わいました。

生涯学習発表では、ことぶき高齢者大学童謡教室と鶴田幼稚園による合唱、さつま町青少年育成町民会議による活



ことぶき高齢者大学と鶴田幼稚園の発表

動発表、さつま町青年団による活動報告と息の合った歌の発表が行われました。その後、さつま美術展や読書感想文・感想画コンクールなどの各種表彰式が行われました。

また、倍賞千恵子さんによる「歌うこと、演じること、そして生きること」と題した記念講演では、若くして走り始めた俳優人生にあつて、人としてあいさつを行うことが身を助けてきたこと、「幸福の黄色いハンカチ」や「男はつらいよ」の映画にまつわる話では、人の成長を人生をかけて演じてきたことなどを語られました。包み込むような優しい声での朗読や随所での温かい歌で、参加者の心を浮

当日は多くの皆さんが、いくつになっても、学び続けることが大切であるとの想いを感ずることができた1日となりました。



ありがとう ございました



青森県鶴田町
相川町長から花器の贈呈



日本特殊陶業(株)天野執行役員
から寄附金30万円の目録贈呈



関西さつま会から
祝金の贈呈

さつま町10周年 記念切手

フレーム切手ができました

詳しくは、15ページをご覧ください。



菜々小町による鍋の振る舞い



高尾野いも煮会による鍋の振る舞い



①日高町長による式辞 ②未来への誓い ③町民憲章朗読 ④⑤⑥「未来のさつま町」作文最優秀賞発表
⑦津軽三味線(友好交流町・青森県鶴田町) ⑧鷹踊り(下手鷹踊り保存会) ⑨増田周袈裟女踊り(友好交流町・中種子町)
⑩ゆるキャラによるステージショー

2月15日、さつま町10周年記念式典が宮之城文化センターで開催されました。

友好交流町である青森県鶴田出身の長峰健一氏と葛西頼之氏による津軽三味線の共演、求名地区の下手鷹踊り保存会による鷹踊りがオープニングを飾り、10周年記念特別表彰では、『特別功労者』『永年勤続』『特別表彰』の3部門で町政発展にご尽力いただいた33人の方が表彰を受けられました。

その後、町内小学校全14校による『10年後の君へ』をテーマとしたメッセージビデオの上映や、『未来のさつま町』をテーマとして募集した作文コンクールの各部門最優秀受賞者の発表などがありました。『未来への誓い』では小学生5人がふるさと「さつま町」への誓いを元気に読み上げ、最後は友好交流町である中種子町の郷土芸能『増田周袈裟女踊り』が披露されました。

さつま町10年のあゆみ



2014 平成26年 2013 平成25年 2012 平成24年 2011 平成23年 2010 平成22年 2009 平成21年 2008 平成20年 2007 平成19年 2006 平成18年 2005 平成17年

3月 宮之城町・鶴田町・薩摩町の3町が合併「さつま町」誕生
 4月 薩摩中央高等学校 開校
 4月 さつま町消防団 発足
 5月 さつま町児童館60周年記念交流
 9月 さつま町誕生記念式典 開催
 町民憲章・町の木・花・竹・鳥・昆虫を発表



2006年7月/鹿児島県北部豪雨災害

4月 指定管理者制度導入 指定管理者と協定書調印式
 さつま町担い手支援室ワンフロア化協定書署名式
 中種子町と友好交流協定を締結
 鹿児島県建設業協会宮之城支部と
 「大規模災害時における応急対策に関する協定」を締結
 鹿児島県北部豪雨災害の発生
 さつま警察署 発足(宮之城警察署から名称変更)
 10月 町民センター つるだ荘の廃止
 1月 株式会社日特製作所進出に伴う立地協定を締結
 2月 宮之城高等学校・宮之城農業高等学校 閉校
 3月 組織機構の改編(水道課本庁集約・建設課本庁直轄方式)
 4月 カイケンコーポレーション株式会社進出に伴う立地協定を締結
 町立永野保育所の廃止
 町立薩摩診療所 閉所式(民間移管)
 10月 川薩グリーンロード全線開通(広域営農団地地域農道整備事業完工式)



2008年10月/ねんりんピック

2月 経済産業省「企業立地に特色ある取組をしている市町村」にさつま町を選定
 さつま警察署と「暴力団員による町営住宅等の使用制限に関する協定」を締結
 3月 川内川河川激甚災害対策特別緊急事業の工事計画に伴う
 埋蔵文化財発掘調査開始「虎居城跡」
 10月 ねんりんピック鹿児島2008開催(さつま町：ラグビーフットボール開催会場)
 12月 町議会会議録のインターネット公開の開始
 郵便事業株式会社加治木支店と「災害に係る相互協力に関する協定」を締結
 3月 北薩横断道路 薩摩道路開通式典(永野IC)さつま観音滝IC 開通)
 「行政サービス日本一運動」総合案内係を設置
 3月 副町長の定数削減(2人から1人へ)
 7月 薩摩郡医師会病院へ高度医療機器等賃借調印式
 9月 「防災・減災フォーラム2009 in川内川」開催
 11月

3月 川内川激特事業 川原橋架替工事完了全面供用開始
 4月 組織機構の再編(総合支所を支所へ、支所の課を廃止)
 さつま観光大使制度を創設
 口蹄疫対策本部の設置
 口蹄疫対策緊急事態宣言
 5月 さつま林産株式会社進出に伴う立地協定を締結
 7月 さつま町5周年記念式典 開催(表彰・さつま町民音頭製作発表)
 11月 青森県鶴田町と友好交流協定 締結



2011年10月/こども図書館開館

2月 求名小学校狩宿分校閉校 記念式典開催
 3月 川内川激特事業 東橋架替工事完了全面供用開始
 6月 川内川激特事業 夜星川橋架替工事完了全面供用開始
 7月 ラジオ体操・みんなの体操会(NHKラジオ)の公開放送(5周年記念行事)
 9月 フォービステクノ株式会社との立地協定を締結
 10月 こども図書館「えほんの森」開館
 さつま町乗合タクシースタート
 町のイメージキャラクター・ログマーク・キャッチフレーズを決定
 3月 町のイメージキャラクターの名前を「さつままるちゃん」に決定
 5月 青森県鶴田町と災害時応援協定を締結
 8月 イメージキャラクター「さつままるちゃん」営業課長&宣伝隊長に任命
 11月 中種子町と災害時応援協定を締結
 株式会社大林クリンエナジーとメガソーラー設置に係る基本協定を締結
 新庁舎建設工事の開始
 川内川激特事業 山崎橋及び宮都大橋架替工事完了 全面供用開始
 さつままるちゃん自動販売機の設置(南九州ペプシコーラ販売株式会社 提案)

2月 さつま町豪雨災害復興祭・復興の碑除幕式・川内川河川激甚災害対策
 特別緊急事業竣工式を開催
 3月 さつままるちゃんが全国版CMに鹿児島県代表として出演(アサヒ 十六茶)
 4月 地域高規格道路 北薩横断道路の「北薩トンネル」貫通 貫通式を開催
 5月 町議会議員定数の削減(20人から16人へ)
 8月 県北部豪雨災害復興記念「せんで川祭りinさつま町」を開催
 さつま町夏祭りでインターネット動画視聴者参加型イベント
 「ニコニコ町会議inさつま町」を開催
 9月 旧宮之城中学校跡地 メガソーラー設置工事完了(愛称:さんSUNさつま)
 大和電機株式会社とメガソーラー設置に係る基本協定を締結(薩摩工業団地・山崎跡)
 1月 1群1町連絡会議設立(長島町・湧水町・さつま町)
 新庁舎へ移転 業務の開始
 2月 緊急速報メールによる情報配信の運用開始
 8月 薩摩工業団地 メガソーラー設置工事完了(名称:やまとソーラープラント薩摩)
 9月 株式会社初穂進出に伴う立地協定を締結
 10月 新庁舎落成 記念式典の開催
 11月 さつま町の未来を考える「中学生議会」の開催

10周年記念特別表彰 特別功労者

(敬称略)

- 【地方自治功労者】
 - 元さつま町副町長 和氣 純治
 - 元さつま町議会議長 中尾 正男
- 【社会福祉功労者】
 - 元薩摩郡医師会会長・薩摩郡医師会病院院長 海江田 康光
 - 元民生委員児童委員協議会会長 三腰 佑昭
 - 元さつま町老人クラブ連合会会長 波東 寛美
- 【産業経済功労者】
 - 元さつま町畜産振興会会長 山下 巖
 - 元さつま町農業委員会会長 大野 靖孝
 - 元宮之城ロータリークラブ会長 故 益壽 滋雄
- 【総合部門功労者】
 - 元学校医 故 益壽 滋雄
- 【永年勤続】
 - 元地区行政推進員 西之園 洋三
 - 元公民会行政連絡員 故 井上 幸一
 - 元公民会行政連絡員 久木野 悟
 - 元公民会行政連絡員 肝付 兼文
 - 元公民会行政連絡員 富澤 満郎
 - 元公民会行政連絡員 藤原 範幸
 - 元公民会行政連絡員 新屋 幸治
 - 元公民会行政連絡員 小丸 昭徳
 - 元固定資産評価審査委員会委員長 飯屋 努
- 【地方自治功労者】
 - 元町議会議員 平田 昇
 - 元町議会議員 内之倉 成功
 - 元町議会議員 市來 修
 - 元町議会議員 麥田 博稔
 - 元町議会議員 楠木園 洋一
 - 元学校医 島田 勝彦
- 【社会福祉功労者】
 - 元民生委員・児童委員 得永 哲也
 - 元民生委員・児童委員 久徳スミ子
- 【産業経済功労者】
 - 元農業委員会委員 角 誠一
 - 元農業委員会委員 中村 勝哉
 - 元農業委員会委員 児玉 周次
 - 元農業委員会委員 中山 敬志
- 【教育文化功労者】
 - 元学校医 島田 勝彦
- 【一般篤行】
 - 子どもたちの健全・育成に長期にわたり尽力されている皆様への感謝状
 - 末永 忍
 - 二ツ木 悦男
 - 栗山 善太郎
 - 門前 裕夫
- 【未来のさつま町】
 - 作文最優秀賞 (敬称略)
- 【小学校の部】
 - 中津川小学校5年 松下 淳平
 - 「さつま町に鉄道を」
- 【中学校の部】
 - 宮之城中学校3年 南 龍青
 - 「未来への第一歩」
- 【高校の部】
 - 薩摩中央高校3年 吉祥庵なつみ
 - 「ふるさと」となる場所への思い

平成25年度、26年度の取組状況

町長の2期目のマニフェスト（政策公約）につきましては、平成25年度から「誠実で公正かつ透明性の高い町政」、「住民視点・現地場主義による対話と協働の町政」、「効率とスピード重視の町政」の3つの姿勢を基本に、4つの戦略目標を掲げ、この目標に向かって、取り組みを進めています。

4つの戦略目標

- ①元気の出る農林・商工業の町
- ②子どもやお年寄りが安心して暮らせる町
- ③ふれあいのある生き生きとした住みたい町
- ④財政健全化による安定した行政サービスの町

①元気の町 農林・商工業の町

■**農林業振興** 総合調整を行う専任プロデューサーを設置し、振興方策の検討や横断的な連絡会議を開催しました。町が推進する農産物や特産品づくりのため、生産施設や種苗等の支援を行っています。

■**「薩摩のなつま」** J A北さつまと連携し、米、梅、筍などブランドを確立するため、関東、関西等においてトップセールスを行い、販売促進に努めています。

■**担い手の確保** 認定農業者、新規就農者の確保及び集落営農を図るための包括的支援を行っています。平成25年度は、鶴田地区で受託組合が結成され、町内の集落営農組織は23となりました。

■**なつま牛** 優良雌牛保留・導入促進や肥育素牛導入促進をはじめ、多頭飼育農家への飼料生産基盤や簡易畜舎等の整備促進のため、支援を拡大しました。

■**子牛のせり市**、県外購買者に対し、町内宿泊施設の宿泊費の助成を行い、購買者誘致に努めています。

■竹林の活用

■平成26年度から町内の方が出荷するパルプ用竹材の竹チップ等製造販売業者の竹の買取単価を1kg当たり1円から2



②子どもやお年寄りが安心して暮らせる町

■**任意予防接種の助成** 平成25年度から、県内初の事例となるロタウイルスとB型肝炎を始め、受けた方が望ましいとされている予防接種を助成対象として積極的に取り入れ、制度の拡充を図っています。



■**円に上乗せし、9円70銭にしました。**

■**有害鳥獣対策** 平成26年度から「有害鳥獣対策係」を新設し、防護柵設置と捕獲の両面から総合的な取り組みを強化しています。

■**6次産業化** 6次産業化（農産物生産・加工・流通販売）を推進するため、専門の講師による農産加工セミナーの開催や、施設設備の助成を行いました。

■**林業の再生** 各種の計画に基づき、間伐等や、高性能機械の導入の推進、山林の活性化に取り組んでいます。

■**商工振興** 商工会と連携し、年2回プレミアム商品券の発行、小売業等店舗整備支援、旅館業等施設整備事業を引き続き実施しました。また、連担する区域の街路灯維持費の軽減のため、屋地商店街の街路灯のLED化に努めました。



■**介護施設** 地域密着型グループホーム・小規模多機能型施設の新設や2施設の増床などの拡充がなされました。

■地域公共交通

■乗合タクシーの利用実績や意見を踏まえ、平成26年10月1日から、路線の統合及びダイヤ改正を実施しました。

③ふれあいのある 生き生きとした 住みたい町

■町の情報発信

イメージキャラクター「さつままるちゃん」を活用し、テレビ、



各種のイベント等への出演やグッズを開発するなど、本町の情報発信に力を入れています。観光特産品協会のホームページやさつままるちゃんフェイスブックの活用、また、観光夢大使、かぐや姫と連携し、町の特産品やイベントなどをPRしています。

■**グリーン・ツーリズム** 研究会を中心に各種の体験学習・修学旅行・研修視察・セミナーの開催など積極的な受け入れ活動を行っています。

■コンベンションタウンの推進

■県内外から本町にスポーツや文化団体の大会、合宿等誘致することで、交流人口が年々増加しています。



■**国民文化祭** 平成27年度の開催

■**公園・道路の整備** 北薩広域公園のテーマゾーン等や北薩横断道路等の整備促進のため、毎年度、国と県へ要望を続けています。

■**再生可能エネルギー・住環境の整備** 危険廃屋の解体撤去並びに住宅用太陽光発電システム設置補助は、3年間の期限付きの事業でしたが、多くの利用がありました。平成25年度から、個人住宅の環境改善や本町の経済効果を高めるため「住宅リフォーム支援事業」を実施しています。平成26年度からは、定住促進のため「周辺地域活性化対策事業」として、住宅の建築、購入に對しての助成制度も新設しました。

■**地域活性化** 町内20の全地区公民館に地域担当の役員職員92人を配置し、『地域づくり活性化計画書』に沿って、各公民館が独自性を持って実施する事業等の支援を行っています。町女性いきいき推進会議や町女性団体連絡協議会を中心として、女性の声を町政に反映させる取り組みも行っています。

■**青少年の健全育成** 心豊かな青少年育成のため、「あいさつ」や「読書」、「早ね・早おき・朝ごはん」を町民運動として重点的に進めています。

④財政健全化による 安定した行政 サービスの町

■**職員の資質向上** 職員一人ひとりの能力開発と意識改革を促し、高度化・多様化する住民ニーズに対応できる職員を育てるため、毎年度、各種研修を実施しています。

■**庁舎建設** 平成26年1月には、手すり、誘導表示などのバリアフリー対応や目的別の色分け、連続した窓口空間など、来庁者が利用しやすい「さつま町役場新庁舎」が完成しました。



■**公共施設の管理** 民間譲渡・貸付・廃止等を進めながら、現在、利用計画のない町有財産の売却等を進めています。

■**職員の定員管理** 平成27年4月1日で325人となる見込みで、3町合併からの10年間で1000人の減少となります。

■**行財政改革** 人件費や借入金金などの縮減、貯金の増加等で改善されました。今後、国からの普通交付

税・人口減による町税の減少、一方では、保健福祉費・公共施設等の維持管理経費の増大などが大きな課題となるため、引き続き行財政改革に取り組みます。

3月20日から さつま町の ホームページを リニューアルします

町のホームページを、3月20日（金）にリニューアルいたします。デザインも一新し、より利用者が使いやすいホームページを目指します。今後、より分かりやすく町政情報などを発信していきますので、ぜひ町ホームページをご利用ください。

※注意事項

トップページのアドレスに変更はありませんが、リニューアルに伴い、各ページのアドレスが変更になります。

ホームページ内のページをブックマーク（お気に入り登録）していただいている方は、お手数ですが再登録をお願いします。

お問い合わせ先
総務課 秘書広報係
☎(53)11111(内線2212)





介護保険事業の運営費は、公費の50%とは別に40歳以上の方が納める健康保険料の中の介護納付金と65歳以上の方が納める介護保険料が財源となっており、社会全体で支える仕組みになっています。

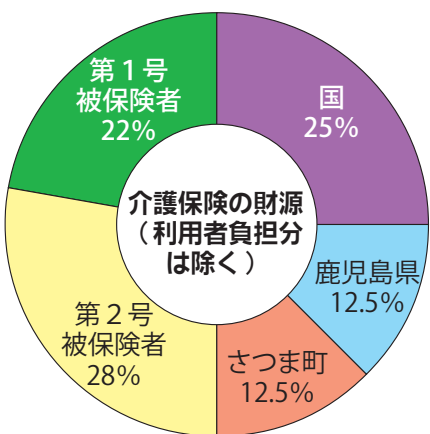
■平成27年4月から(①・②)

① 介護保険料が変わります

介護保険の財源の負担割合が、40歳以上の人口比率により変わります。

- 65歳以上(第1号被保険者) 21%↓22%へ変更
- 40歳から64歳(第2号被保険者) 29%↓28%へ変更

※介護保険料については、次号で詳しく掲載します。



② 特別養護老人ホームに新規で入所する際の入所基準が変わります

原則、要介護3以上の方に入所が制限されます。ただし、要介護1、2の方でも、一定の要件の時は、特例的に認められる場合があります。

■平成27年8月から(③・④)

③ 一定以上の所得者は利用者負担が2割になります

一定以上の所得者は、利用者負担が2割になります。

さらに、補足給付(施設の食費・居住費)の支給要件に預貯金等の資産や、非課税年金(遺族・障害)を収入として勘案されるようになります。

*合計所得160万円以上で、同

④ 高額介護サービス費の上限額が新設されます

一世帯の第1号被保険者の年金収入十その他の合計所得金額が単身世帯で280万円以上、2人以上世帯346万円以上の方。

同じ月の利用者負担が一定額を超えたとき、申請により支給される「高額介護サービス費」の利用者負担段階区分(所得などに応じた区分)に、**現役並み所得者**が新しく設けられます。

*同一世帯に課税所得145万円以上の方がいて、年収が単身383万円以上、夫婦520万円以上の方↓上限額が44,400円。

■第6期さつま町 介護保険事業計画策定中

介護保険事業では、市町村ごとに3年間の保険事業にかかる給付費等の総額を推計して保険料を定めてきました。第6期計画(平成

27~29年度)を策定するため、町内の保健・医療・福祉関係者、第1号、第2号被保険者を委員とした計画策定委員会を設置し、審議を進めてきました。

計画推計では、認定者数のピークを平成32年と見込んでおり、介護費用は増加し続ける傾向にあります。第6期では、65歳以上の第1号被保険者数はほぼ横ばいですが、40歳以上の第2号被保険者数は減少すると見込まれ、財源の確保や事業の運営が厳しくなっていくことが予想されます。

※地域支援事業については、第6期計画中に、軽度者に対する介護予防(要支援の方)の分野を含めた新総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の取組に転換する必要があります。本町では平成29年度までに移行開始できるよう地域基盤の準備を進めます。

さつま町の学校再編情報

■小学校再編校の学校名が決定しました

平成28年4月開校予定の再編校について、これまで3回の再編準備委員会を開催しました。学校名については、現小学校の名称をそのまま使用し、それぞれ「盈進小学校」、「柏原小学校」とすることに決定しました。

■再編校の制服が決定しました

盈進小学校に再編する3小学校の制服について、再編後は平成28年度入学生から現盈進小学校の制服を使用することに決定しました。柏原小学校は、現在、再編準備委員会で検討中です。

■通学バスの運行を検討中です

再編に伴う通学のための交通機関として、通学バスの運行を計画しています。盈進小学校へ再編する泊野小・白男川小・平川小学校から2系統を、柏原小学校へ再編する紫尾小・柘野小学校区からは1系統を提案しました。



■中学校再編準備委員会

第1回再編準備委員会を開催し、平成31年4月開校に向けて、再編準備委員会設置要綱や今後のスケジュール等について話し合いを行いました。

今後、それぞれの小学校PTA等で検討していきます。



閉校式及び閉校記念行事の日

- 平川小学校 平成28年2月28日(日)
- 白男川小学校 平成28年3月6日(日)
- 泊野小学校 平成28年3月13日(日)
- 紫尾小学校 平成28年3月20日(日)
- 柘野小学校 平成28年3月20日(日)
- 閉校式 平成28年5月1日(日)

お問い合わせ先
さつま町教育委員会
教育総務課 総務係
☎(53)1111(内線2511)

新規認定農業者の紹介 (平成27年2月12日認定)

2月12日、町長室において、2経営体が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付式が行われました。本町の認定農業者数は、同日現在で個人経営体190、組織経営体36、合計226経営体です。



株式会社武番屋アグリ皆さん

氏名 (敬称略)	株式会社武番屋アグリ 代表取締役 今西 和彦 (46歳)
所在地	宮之城屋地
経営作目	露地野菜
意気込み	地域の皆様と一緒に生産向上に取り組み、地域の活性化につなげたい。

認定農業者制度は、意欲ある農業者が「私はこの町でこういう農業がやりたい」という考えと、経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画」を示し、町がその考え方・意欲を認め、地域全体で経営目標の実現を図るための環境づくりを進めることを目的としています。認定農業者に対しては、関係機関が各種支援策を集中的・重点的に実施します。

新規就農者へ祝金を贈呈

1月27日、町長室でさつま町農業後継者祝金贈呈式が行われました。

これは、本町に後継者として新規に就農した方に祝金を交付し、就農意欲の向上と、優れた農業経営者の育成を図ることにより、本町の農業の活性化と農村振興に寄与することを目的としたものです。

本年度は、山口正和さん(茶)、福岡裕治さん(イチゴ)、山崎博文さん(水稲)、立田利奈さん(マンゴー)、中園英紀さん(生産牛)の5人が後継者として就農し、日高町長から農業後継者へ励ましの言葉と、祝金の贈呈が行われました。



空まで響けさつまの音色



薩摩中央高校・吹奏楽経験者・コーラスの合同ステージ

1月25日、みやんじよ吹奏楽フェスタ2015が宮之城文化センターで開催されました。

15回目となる今回は、鶴田小、盈進小、町内3中学校の吹奏楽部をはじめ、全国レベルの宮之城吹奏楽団や薩摩中央高校吹奏楽部と本町にゆかりのある吹奏楽経験者の合同ステージなど、小学生から60歳代まで幅広い方々が参加しました。

今回は、さつま町10周年と第15回の節目を記念すると



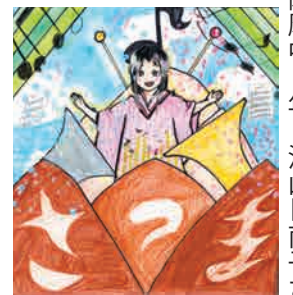
盈進小吹奏楽部の演奏

最後は、参加者全員で唱歌「ふるさと」を大合唱し、会場がひとつになり、「吹奏楽の町・さつま町」にふさわしい演奏会になりました。

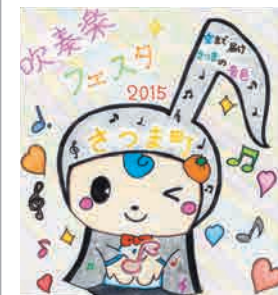
もに、これまで同様、東日本大震災や日本各地で頻発する自然災害からの1日も早い復興を願って演奏されました。

その取組として、復興支援チャリティパーバザーや初の小学校合同演奏、コーラスとの共演などが行われました。

当日は、町社会福祉協議会を通じ、薩摩中央高校生ボランティアや吹奏楽経験者に会場案内や受付、バザーなどのお手伝いをいただき、多くの方が関わる町の一大行事となりました。



表紙絵グランプリ 薩摩中3年 池山日南子さん
表紙絵進グランプリ 宮之城中1年 早崎愛花さん



バドミントン 全国第5位

鶴田小4年 笹原さん

鶴田小学校4年生の笹原愛夏さんが、12月25日から29日まで新潟市で行われた第23回全国小学生バドミントン選手権大会に出場し、女子シングルス4年生以下の部で第5位に入賞しました。

笹原さんは川内ジュニアバドミントンクラブに所属し、お父さんが同クラブで指導をされています。小学1年生からバドミントンを始め、ほぼ毎日練習に励んでいます。笹原さんは「初めて入賞できたのでうれしかったです。今回ベスト8だったので、今度は強い人に勝って優勝できるように頑張っていきたいです」と話してくれました。

たごたごあがれ 永野小児童が凧あげに挑戦



懸命に走る児童

1月28日、永野小学校で児童36人による凧あげ大会が開催されました。同校では毎年

凧あげ大会を実施しています。凧は、冬休みに家庭や友だちなどと作り、色々な種類の凧が揃いました。

当日は、なかなか強い風が吹きませんでした。が、児童は校庭を一生懸命走りながら時折吹く風にのせて凧を空高くあげてい



こんな凧作ったよ！

児童は「最初はうまく飛ばなかったけど、コツをつかんでうまく飛ばせて楽しかった。たごたごクルル回って面白かった」と感想を述べました。

環境について 町女性大会

1月25日、町女性団体連絡協議会主催による第10回さつま町女性大会が、薩摩農村環境改善センター中央公民館で開催され、約250人の参加がありました。

環境問題をテーマに掲げた今大会では、さつま本よみ隊による朗読が始まった後、女性団体連絡協議会から、ごみの分別の仕方について学んだことや、生ごみを減らす工夫としてダンボールコンポストを実践してきたことなど、環境問題に対する活動発表がありました。

また、「川内川の歴史と川



小緑副会長による開会宣言の様子

4チームが来町 プロサッカー 春季キャンプ

1月27日、インターナショナルゴルフリゾート東京セラでベガルタ仙台の激励式が行われました。

式では、町・県関係者などから選手たちを激励するため、イチゴやトマト、キンカン、黒豚などが贈られました。渡邊晋監督は、「心温まるもてなしに感謝します。いただいた特産品をパワーに変えたいです」と話されました。このほか、ギラヴァンツ北九州やカマタマーレ讃岐、FC町田ゼルビアなどのチームも本町でキャンプを行いました。

各チームの今季の活躍が期待されます。



町の特産品を受け取ったベガルタ仙台の選手たち

私有地寄付 知識玲子さんに 感謝状



感謝状を手にする知識さん(左)

1月21日、知識玲子さん(宮之城屋敷)の寄付に対し、日高町長から感謝状の贈呈が行われました。

知識さんは、昨年10月、地域住民の健康増進と福祉のために活用してほしいと、私有地を町へ寄付してくださいました。

いただいた土地(湯田)の一部は、現在、グラウンドゴルフ場として利用されています。

今後は、利用者に施設の維持・管理を行っていただきながら、地域住民の憩いの場となるよう活用させていただきます。

第1回 関東佐志会 盛大に開催



初の関東佐志会、大いに盛り上がりました

1月31日、東京都江戸川区の料亭寿賀多(女将さんが佐志出身)に46人が集まり、第1回関東佐志会が盛大に開催されました。

同会は、以前より多くの方々から設立希望がありました。この度、有志の音頭により念願の開催実現となりました。

乾杯のあとは、全員で焼酎をお楽しみながら、カラオケで「佐志」を大いに語り、有意義な時間を過ごしました。

参加者の自己紹介や、佐志村の概要書(沿革)の説明、佐志の現風景を撮影した写真展示など時間はあっという間に過ぎました。

今後更に会員を増やし、第2回目以降に繋げていく予定です。(写真:松坂繁毅さん、文:宮里貢さん)

力の限り綱を引く

第10回さつま町綱引選手権大会



綱引き開始前の緊張の一瞬

2月1日、宮之城総合体育館で開催され、4部門に23チーム約250人がエントリーし、熱戦が繰り広げられました。

小学生は、フリーの部4チーム、280kg以下の部に9チームが出場しました。選手はもちろん、保護者や先生方が一生懸命応援する姿が印象的でした。

一般は、男子の部と男女混成の部にそれぞれ5チームが出場しました。中でも、混成の部初出場の「時吉」は、接戦の末、惜しくも準優勝でしたが、元気なチームカラーがとて印象に残りました。

今年は、出場チームが昨年より2チーム増えました。来年も多数の出場をお待ちしております。

成績は次のとおりです。

- 一般男子（600kg以下）
優勝 チームきらら（泊野）
準優勝 平川ぼっけもん
- 一般男女混成（制限なし）
優勝 泊野チーム
準優勝 時吉
- 小学生フリー（制限なし）
優勝 さつま柏原
準優勝 平川砲
- 小学生280kg以下
優勝 時吉S
準優勝 ドリーム佐志キッズ



力を出し切って倒れ込む選手たち

技能五輪で敢闘賞

高等技術専門校 土持さん

11月28日から12月1日、愛知県で第52回技能五輪全国大会が行われ、宮之城高等技術専門校内造形科2年・土持弘聖さん（20歳）が家具部門に出場し、敢闘賞を受賞しました。

同大会は、原則23歳以下の青年技能者が、互いの技能を競い合う全国競技大会です。

家具部門には全国から22人が出場し、2日間で約12時間かけてキャビネットの製作を行いました。

土持さんは、「金賞を目指していたので、悔しいというのが一番大きいです。初めて大きな大会に出て、緊張して会場の雰囲気にも飲まれてしまいました」と出場した感想を述べました。

実家が家具屋（宮崎市）で、学生の頃、夏休みの工作で一人だけ本格的なイスを作ったいき恥ずかしい思いをしたこともあるという土持さん。

今後の目標を伺うと、「実家に帰ってまず仕事を覚えたい。その後、技能五輪を目指



賞状を手にする土持さん

し、宮崎県を代表するような家具職人になりたいです」と話してくれました。

お兄ちゃんたちとイスを作ったよ

中津川小で出前授業

2月4日、宮之城高等技術専門校建築工学科訓練生による出前授業が、中津川小学校で行われました。

これは、子どもたちに身近な木材や大工道具に触れる機会を提供し、楽しみながらものづくりの大切さを学んでもらうことを目的とし、毎年実施されています。

当日は、中津川小5・6年生児童8人と訓練生8人による鹿児島県産材を使った休息イス作りが行われました。児童は、専門校の上村教諭



素敵なイスが完成しました

から作業手順の説明を受けたあと、インパクトドライバー（電動工具）を使ってねじを打ち、順番に材料を組み合わせ、約2時間で休息イスを完成させました。

児童一人につき訓練生一人が指導し、最初はお互い遠慮がちのところもありましたが、次第に打ち解け、冗談を言ったりしながら楽しく製作していました。

児童は、「ねじを打つのが最初は難しかったけど、楽しかったです。とてもいい思い出を作ることができました」と感想を話しました。



スパッと！鹿児島でPR（写真提供：MBC）

MBCのテレビやラジオでPR

2月2日から8日の1週間、さつま町ふるさとウィークが行われました。

MBC南日本放送が地域を盛り上げる取組として実施され、まちのイベント・行事・人・物などを、テレビ・ラジオ・ホームページ・データ放送などで取り上げてPRするものです。

日高町長もテレビの「スパッと！鹿児島」やラジオの「モーニングスマイル」に生出演し、10周年記念式典や町民大会、宮之城初市などのPRを行いました。

期間中は、多くの町民の皆さまが、テレビやラジオに出

ささ福かざりが町を彩る

初市と百縁祭開催

2月7日、盈進小学校前町道で毎年恒例の宮之城初市と百縁祭が開催されました。

初市では、露天商をはじめ、宮之城人形の販売や薩摩中央高校による野菜と花の苗の販売などがありました。

また、NPO法人ひつ翔べ！奥さつま探検隊と商工会女性部によるさつまのささ福かざりのお披露目が、宮之城屋地商店街や虎居商店街の店舗などでありました。

この『さつまのささ福かざり』とは、さげもんと言われ、着物の端切れなどで作った飾



さつまのささ福かざり

りをひもでつないで輪につるしたものです。女の子の幸せを願う縁起物でもあり、華やかな色合いが魅力となっています。また、商店街が元気になるようにとの願いも込められています。

今回の初市・百縁祭も、ささ福かざりなどの沢山のイベントにより、多くの人で賑わっていました。



宮之城人形も大盛況

林檎と焼酎が恋をした

林檎のお酒完成



フルーティな味わいのフィレール

2月9日、ひかり別館で林檎のお酒フィレール試飲会が開催されました。

このお酒は、友好交流協定を結んでいる青森県鶴田町のりんご「ふじ」と本町の軸屋酒造の芋焼酎が連携して生まれました。昨年夏に販売された葡萄酒のお酒フィレールに続



みんなでフィレールをPR

いきいき教育活動表彰受賞

鶴田小3年 岡村さん



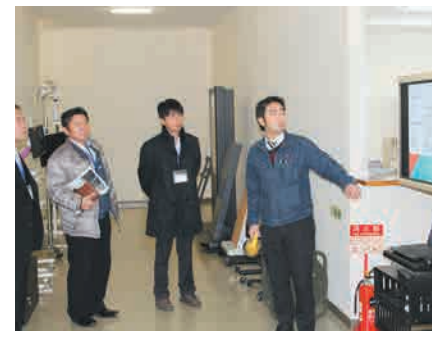
2月12日、鹿児島県庁で平成26年度いきいき教育活動表彰の表彰式が行われ、鶴田小学校3年生の岡村透子さんが表彰を受けました。

これは、文化活動やスポーツ活動などで顕著な成果を収めた児童生徒などに贈られ、昨年8月に東京都で開催された平成26年度民謡民舞少年少女全国大会で第3位（民謡小学1・2・3年生の部）に輝いたことなどが認められたものです。

岡村さんは、「東京で行われた民謡の全国大会に行けたことも楽しかったし、今回この賞も受賞できてうれしかったです。もっとうまくなって1位になれるように頑張りたいです」と話してくれました。

2市1町異業種企業との組織交換会

地域や業種の垣根を越えた
広域的な経済交流を



フォービステクノ(株)の視察

2月6日、本町で操業している金属加工や電子機械関係の製造業等17社を会員とする「さつま町ものづくり企業振興会」と「日置市異業種交流懇話会」及び「曾於市立地企業懇話会」との組織交換会がさつま町内で行われ、各会の会員企業等から約70人が出席しました。

この交流は、毎年度2市1町で持ち回り開催しており、本町では3回目の開催となりました。

今回の交換会では、はじめに、鶴田ダム再開発事業の見学を行い、続いて、金型部品や家紋グッズ等を製造・販売している(株)ジクヤ精工(軸屋

敏宏代表取締役)と、モニター周辺機器やラック製品を製造しているフォービステクノ(株)(齋藤太蒼代表取締役)の町内企業2社への企業視察を行いました。

その後、ひかり別館で講演会及び交流会が行われました。講演会では、町内でプライダル用切り花や葉物を中心に生産を行っている、(有)南原農園の南原武博代表取締役が「地域資源を活かした農業経営」と題して講演を行いました。交流会では、参加者間の活発な意見交換が行われ、この組織交換会を契機とする、地域や業種の垣根を超えた広域的な経済交流が期待されます。



講演を行う南原代表取締役



陶芸体験を行う塾生

さつまふるさと体験塾 陶芸・色付けを体験

1月24日と2月14日に夢竹庵(山崎)で、陶芸体験・色付け体験が行われ、塾生15人が参加しました。陶芸体験が初めての子どもも多く、慣れない作業に苦戦していましたが、何度もやり直し、自分の納得のいく作品に仕上げていました。

子どもたちは、普段何気なく使っているコップや茶碗などの陶器にも、先人たちの発想・美意識・思いが詰まっていることを知り、その歴史や物の大切さを学びました。異年齢集団での活動を通して、協調性・忍耐力を身に付けた心豊かな「さつまっ子」に成長してくれることに期待します。



永江滝を見学する参加者

地域のもてなしに 大満足! 薩摩ウォーキング

2月14日、町観光特産品協会主催の第3回梅の花咲く薩摩ウォーキングが中津川交流館をスタート・ゴールとする約10kmのコースで開催され、県内各地から約240人が参加されました。

当日は晴天に恵まれましたが、梅の花はまだ、つぼみの状態で「花が咲いていなくて残念」という意見もありました。

中津川交流館では、保育園児による見送り、コースの大石神社と永江滝では、中津川サッカー少年団による説明がありました。昼食には、地元食材を使った梅お

こわやかきあげ、豚汁等が提供され、食事の合間には、中津川の若者たちによる手踊りが何度も披露され、参加者は地元のもてなしに大変満足された様子でした。

県広報コンクール 「一枚写真の部」で 入選

平成26年度鹿児島県広報コンクールが開催され、総務課秘書広報係・濱島主事が出品した広報さつま9月号の表紙写真が入選しました。

コンクールの結果は鹿児島県のホームページでご覧いただけます。また、広報さつまのバックナンバーは、町のホームページでご覧いただけます。これからも、皆様にご覧いただける広報紙づくりに努めてまいります。



入賞した広報さつま9月号表紙写真

さつまの魅力凝縮 フレーム切手贈呈式 (さつま町10周年記念切手)



フレーム切手を手にする関係者

2月13日、町長室でオリジナルフレーム切手「さつま町10周年」の贈呈式が行われました。

これは、本町が10周年を迎えることを記念し、日本郵便(株)にオリジナル切手の作成を依頼したものです。当日は、薩摩郵便局の宮原良治局長並びに宮之城湯田郵便局の三角航洋局長から、日高町長・紺屋副町長へフレーム切手が贈呈されました。日高町長は「市街地の風景や竹林、新庁舎、特産品など、さつま町の魅力が詰まってい

ます。広く活用し、全国にPRしていただきたい」と話しました。切手は、限定1000シートで、町内の11郵便局及び役場企画財政課政策推進係で販売しています。

■販売価格
1シート 1,230円
(82円切手×10枚)

■お問い合わせ先
企画財政課 政策推進係
電話(53) 1111
(内線2223)

お詫びと 訂正



広報さつま2月号で誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

■17ページ
南九州市かわなべ青の俳句大会の神上園隆晴さんの作品

【誤】スルーパス
友のシュートへ つなぐ道

【正】スルーパス
友のシュートへ つなぐ夏

■26ページ
霧島アートの森臨時休園の記事 2行目
【誤】 燻蒸(くんむ)
【正】 燻蒸(くんじょう)

知って得する 第10回 一年を振り返って



こまつちゃんの消費生活基礎講座

「声を掛け合い、見守り合い、みんなで消費者トラブルを防ごう」の掛け声のもと、4月から消費生活相談員として相談業務や消費生活講座を行ってきました。

■相談受付件数(2月10日現在)
97件(情報提供を含む、昨年は年間30件)

■主な相談内容
健康食品、健康器具(マット等)、住宅補修工事(屋根、壁、シロアリ駆除など)、送りつけ商法、電話通信関連など

■講座実施回数
53講座(サロン、高齢者大学、職業訓練校、各種団体など、延べ1,464人、県下一の実績)

講座終了後のアンケートでは、「忘れやういので何回でも聞きたい」、「実話を話されたので耳に残った」、「こんな講座は何回あってもいい」などの意見が寄せられました。

☆来年度の出前講座 募集中!

今後、学校関係や子育て中の世代、子育ての終わった世代向けの講座も予定しています。各種団体、グループでご希望がありましたら相談窓口までご連絡ください。

安心安全で暮らしやすい町 さつま町

声を掛け合い、見守り合い、みんなで消費者トラブルを防ごう

こんな相談がありました



■消火器、健康マットの訪問販売
業者が「消火器を見せて」と訪問し、交換が必要と業務用の消火器を強引に販売したと、相談・情報提供がありました。うち2件は家族がすぐに契約に気付き、クーリングオフの手続きをして、払ったお金は返金されました。1件は「夫に電話させて何とかが断ったけど、その有無を言わせない強引さに驚いた」と話してくださいました。

窓口では、返金を見届け、防災無線で注意を呼び掛けました。放送を聞かれた民生委員さんからは、地域で被害が出ていないか確認の問い合わせがありました。また、健康マットの訪問販売でも、一人暮らしの女性が近所に駆け込み、強引な業者の勧誘を断った例があります。この件は、民生委員さんと、ヘルパーさんから知らせを受けた警察からも情報提供がありました。このように、みんなで消費者トラブルを防ぐ動きがあちこちで見られます。1人で悩まず相談しましょう。

■相談窓口のご案内(相談無料・秘密厳守)
電話相談の場合↓ ☎(53) 1111
(内線2331)

高齢の方は窓口から自宅などへ訪問可。
来庁の場合↓ 役場3階商工観光課商工振興係へ(エレベーターもあります)



図書室へ行こう!!

Let's enjoy Reading

平成26年度「最も読まれた本」発表!!

平成26年4月～平成27年2月の間、最も貸し出しが多かった図書をご紹介します！気になる本がありましたら、図書室で手に取ってみてください♪

児童書 ベスト3

- 1 「アサと雪の女王」**
角川アニメ絵本 (KADOKAWA/角川書店)
 - 2 「かいけつゾロリの めいたんていとうじょう」**
原 ゆたか 作・絵 (ポプラ社)
 - 3 「ほねほねザウルス 11 だいぼうけん! ポコポコン・ホール」**
ぐるーぷ・アンモナイツ 作・絵
カバヤ食品(株) 原案・監修 (岩崎書店)
- 「となりのトトロ (徳間アニメ絵本)」
宮崎 駿 原作 (徳間書店)

一般書 ベスト3

- 1 「うちの3姉妹 16」**
松本 ぶりっ 著 (主婦の友社)
- 2 「夢を売る男」**
百田 尚樹 著 (太田出版)
- 3 「白蓮れんれん」**
林 真理子 著 (中央公論社)



★返し忘れていた本、ありませんか??

3月に入ると、進学や就職などで引越しをされる方が多くなります。お引越し予定の方、返却していない図書室の本はありませんか？荷造りの前にぜひ一度、ご確認ください。返却期限を過ぎていても構いません。閉館時間や休館日のときは、各図書室に設置してあるブックポストをご利用ください。また、図書室の本を紛失されたり破損されたりした場合は、お早めに借りられた図書室へご連絡ください。図書室の本は、町民皆様のものです。大切に取り扱いくださるようお願いいたします。

オススメの 新着本

※紹介したもの以外にもたくさんの本が入っています！詳しくは各図書室へお尋ねください。(出版社の了承を得て掲載しております。)

【鶴田中央公民館図書室】

跳びはねる思考
会話のできない自閉症の僕が考えていること
東田 直樹 著 (イースト・プレス) 【一般書】

たとえ、うまく話せなくても、心には、言葉を持っているのです。重度自閉症の著者が「生きる」ことの本質を鋭く、清冽な言葉でとらえた珠玉の一冊。

【屋地楽習館図書室】

キャプテンサンダーボルト
阿部 和重 著
伊坂 幸太郎 著 (文藝春秋) 【一般書】

あなぐまアパート
あんびる やすこ 作・絵 (鈴木出版) 【絵本】

【こども図書館～えほんの森～】

おはなみ
くすのき しげのり 作
まるやま あやこ 絵 (あかね書房) 【絵本】

のりもの日本一周!
小賀野 実 監修・写真 (ポプラ社) 【児童書】

【お問い合わせ先】・教育委員会 社会教育課 ☎53-1111 (内線2531) ・こども図書館～えほんの森～ ☎57-1202
・鶴田中央公民館図書室 ☎53-1111 (内線4412) ・屋地楽習館図書室 ☎53-1994

こんなことは保健師です

「子どもが変わった!?!」

子どもは、自ら育つ力をもっていきます。それぞれの年齢や発達段階の道筋を経て成長していくものです。でも、そんな当たり前と思われてきた子どもの育つ力を発揮することが難しくなっています。

一昔前、普通にできていたことが、できなくなってきたり、今の子どもたち。子どもの体に変化がおきています。赤ちゃんの頃から、何の異常もないのに、関節や筋肉の柔軟性がなく、硬かったり、逆に柔らか過ぎたり……。

その影響で子どもは、自分の体であっても、自由に動かせない不便さや不自由さを抱えています。笑いたくても、おっぱいが飲みたくても、食べたくても、顔の筋肉がうまく動かせない子どもが増えていきます。

でも、不自由さや不自由さを抱えているそのことが、子ども自身はわかりません。だから、周りの大人が気付き、手を差し伸べてください。そうすれば、もっと子どもたちがその子らしく輝けるでしょう。

現在、遊ぶ場所の減少やDVD、スマートフォンなどの普及、便利になった世の中で、体をつかう機会が減っています。

また、便利な育児グッズが溢れており、子どもの発達に即したものを選ぶことが難しくなっています。そんな時代だからこそ、周りの大人が手立てをもって、予防したり、気づいて誰かに相談できる環境が求められています。

■町では、相談を受付中です

町では、少しでもお子さんの健やかな育ちを応援し、子育て中の親をサポートする場として、各種健診・相談を実施しています。また、役場窓口では常時相談を受けておりますので、いつでもお気軽にご利用ください。

■お問い合わせ先
さつま町役場
健康増進課 健康増進係
☎(53)11111
(内線2143・2144)



よかところ再発見

まちの歴史探訪⑩

島津金吾歳久の供養塔群



左から歳久の父、島津忠隣、歳久、松蔵昌英大姉、歳久の母

今回は、宮之城屋地城之口にある町指定文化財「島津金吾歳久の供養塔群」についてご紹介します。

島津金吾歳久は、祁答院洪谷家十三代良重「きあとの祁答院領主となり、虎居城を居城とした武将です。祖父忠良公(日新斎)には「始終の利害を察するの智計並びなく」と評されており、戦国時代の島津家による九州侵攻の原動力となった島津義久公をはじめとする四人兄弟の三男です。後に豊臣秀吉の命により、龍ヶ水で自害に追い込まれますが、領民から慕われた歳久公を偲び、歳久公を祭神とする寺社が県内各地で造られました。

『宮之城記』によれば、正徳二年(1712)に宮之城島津家第五代久竹の代に久竹の長女慈光院が、昌英寺の敷地内(現在の城之口公民館前)にお堂を造り、その中に供養塔を造立し、歳久が建てた父母や根白坂の戦いで戦死した養子忠隣の墓を、供養塔の左右に移転して祀ったとあります。また、宮之城島津家第二代忠長の娘で虎居城に住んでいた松蔵昌英大姉の墓もあります。これは、昌英寺住職逸文が託鉢(たくはつ)に回って得たお金で元文五年(1740)にお堂の中に新しく作り替えて祀ったと云われていますが、後にここへ寄せられたようです。なお、供養塔群入り口の左側には、供養塔を建てたとされる慈光院の墓もあります。



慈光院の墓

お知らせ

健康診査日程(3・4月分)

- 乳幼児健診・健康相談
 - 1歳7〜8か月児 (H25・7生) 健診
 - 3月18日(水)
 - 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 7〜8か月児 (H26・7生) 育児相談
 - 3月20日(金)
 - 午前9時〜午前9時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 3歳児 (H24・1生) 健診
 - 3月25日(水)
 - 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳3か月児 (H24・12生) 歯科健診
 - 4月2日(木)
 - 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 4か月児 (H26・11生) 健診
 - 4月8日(水)
 - 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)

母子健康手帳交付

- ・3月23日(月)
 - 午後1時30分〜午後3時 受付(さつま町役場本庁 2階会議室B)
 - ・4月13日(月)
 - 午前9時30分〜午前11時 受付(さつま町役場本庁 2階会議室B)
- ※健康保険証・印鑑をお持ちください。



フッ化物塗布

- 3月18日(水)
 - 3月25日(水)
 - 4月2日(木)
 - 午後3時〜午後4時 受付(宮之城保健センター)
- 「えほんの森」身長・体重測定 4月10日(金)

お問い合わせ先

健康増進課 健康増進係 (内線2144)

軽自動車等をお持ちの方へ(課税のお知らせ)

軽自動車税は、毎年4月1日現在の軽自動車等の所有者に課税されます。廃車したり、他人に譲ったりした場合は、廃車・名義変更の手続きをする必要があります。

心配ごと相談所



毎週木曜日
午前10時〜正午
宮之城ひまわり館
お問い合わせ先
町社会福祉協議会
☎(52) 1123

特別障害者手当等の
手当額が改定されます

在宅の重度障害者(児)に対して県から支給される特別障害者手当、障害児福祉手当及び経過的福祉手当の額が、平成27年4月分から改定されます。

- 特別障害者手当
 - 月額26,620円 (+620円)
- 障害児福祉手当
 - 月額14,480円 (+340円)
- 経過的福祉手当
 - 月額14,480円 (+340円)
- お問い合わせ先
 - 福祉課 福祉係 (内線2135)
 - 鶴田支所 町民福祉係 (内線4114)
 - 薩摩支所 町民福祉係 (内線6124)

全部支給

月額42,000円 (+980円)

一部支給

月額41,990円 (+980円)

特別児童扶養手当の
手当額が改定されます

身体又は精神に中度以上の障害がある20歳未満のお子さんを監護される方に支給される特別児童扶養手当の額が、平成27年4月分から改定されます。

- 1級
 - 月額51,100円 (+1,200円)
- 2級
 - 月額34,030円 (+800円)
- お問い合わせ先
 - 福祉課 子育て支援係 (内線2133)
 - 鶴田支所 町民福祉係 (内線4114)
 - 薩摩支所 町民福祉係 (内線6122)

シルバー人材センター
「就業・入会説明会」
の開催

本町に居住されている60歳以上の方を対象に、「就業・入会説明会」が開催されます。

当日は、シルバー人材センターの仕事情況や派遣企業における就業内容の説明会もあり、希望者は相談会もありません。元気で働く意欲のある方のご参加をお待ちしております。

■日時
3月12日(木)
午後1時30分開会
(午後1時から受付)



■場所
宮之城ひまわり館 いきいき学習室

■入場料
無料

■お問い合わせ先
町シルバー人材センター
☎(52) 3363

ダニにご注意を!!
発生ピークは
春からです



ダニ類は日本国内のどこにでも、また思ったより身近にいます!!

身近にいます!!
公園や川原なども生息地
帯です。

人が野外作業や農作業、レジャー等で生息場所に立ち入ることでダニ類やツツガムシ類に咬まれ、それらがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が病気を発症することがあります。



■マダニ等が媒体する様々な感染症
・「日本紅斑熱」
・「つつが虫病」
・「重症熱性血小板症候群(SFTS)」など

■マダニに咬まれないように
することが重要です

①草むらや藪など、マダニの生息する場所に入る場合には、なるべく肌を露出しない。

長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用する。

②屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認する。
③帰宅後はすぐ入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替える。着ていた服はすぐに洗濯するか、屋外で天日干しする。

募集

消防団員募集

女性も入団できます!!



消防団は、地域で発生した火災の消火活動や地震・風水害など各種災害対応はもちろん、災害の予防広報

マダニに咬まれたら

①吸血中のマダニに気が付いた際には、できるだけ医療機関で処置するとともに、マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合には、医療機関を受診してください。

②ダニに咬まれたと気付かないこともあります。野外で活動した数日後に疑わしい症状(発熱、発疹等)が現れた場合は、速やかに医療機関を受診してください。その際は、「野山等に出かけた」又は「ダニに咬まれたかもしれない」ことを伝えてください。

■お問い合わせ先
健康増進課 健康増進係
(内線2144)

児童扶養手当の
手当額が改定されます

ひとり親家庭等に支給される児童扶養手当の額が、平成27年4月分から改定されます。

改定額は次のとおりです。

- 全部支給
月額42,000円 (+980円)
- 一部支給
月額41,990円 (+980円)
- 特別児童扶養手当の
手当額が改定されます
身体又は精神に中度以上の障害がある20歳未満のお子さんを監護される方に支給される特別児童扶養手当の額が、平成27年4月分から改定されます。

「さつま町観光
ボランティアガイド」
(さつまガイド)の募集!

さつまガイド(観光ボランティア)では、町の観光名所(史跡・産業・自然・温泉・食など)を観光客の皆さんへ案内していただく方を募集します。

1月の火災・救急情報

火災	◆発生件数	0件
救急	◆出動件数	106件
	◆運んだ人	103人
	◆内訳	
	病	75件 71人
	交通事故	4件 5人
	その他	27件 27人

■年会費
1,000円

■申込方法
住所・氏名・連絡先(電話番号)を、電話でお知らせ下さい。

■申込み・お問い合わせ先
さつま町観光特産品協会(宮之城鉄道記念館内)
☎(53) 0525

お手数ですが
52円切手を
お貼りください

8 9 5 1 8 0 3

さつま町宮之城屋地 1565-2

さつま町役場
総務課秘書広報係 行
(2015/3月号)

フリガナ

◎ご氏名

年齢 歳 性別 / 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□

電話 () -



広報紙をご覧になった感想や
今後取り上げてほしい記事、
皆さんの身の周り起こった
出来事、イラストなど、たく
さんの声をお聞かせください。

※個人情報の取扱い
・ご記入いただいた個人
情報は、お便りのご紹介・
賞品発送以外の目的では
使用しません。

点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

宮之城を離れ約45年、時々80歳の兄から送られてくる「広報さつま」を読み、懐かしさを感じるひとときを過ごさせてもらっています。

(二ツ木 堅 男性)

お便り紹介

昨年11月中旬、上は80歳から下は65歳の兄弟5人、それぞれの夫人同伴(計8人)で、2泊3日の紅葉の京都観光。皆が歩ける元気なうちに、上から4番目の兄の提案で実現しました。鹿児島・東京・埼玉から京都に集まり、久しぶりの顔合わせとなりました。兄弟が多いため、ちょっとした小団体です。

こうして皆元気で健康を確かめ合い、やや早い感ではありましたが、紅葉の京都を満喫しました。兄弟が多いからこそ、賑やかに楽しい時を過ごすことが出来ました。苦しい時代に育てて感謝することでした。

この中で一番の健脚は、80歳の兄で、日頃の散歩や立哨がさすがにものをいったようです。やはり、普段歩くことがどんなに大事か、健康に良いか実感されました。

参して、廃棄処分の手続きを行ってください。

お問い合わせ先
鹿児島県教育庁文化財課 指定文化財係
☎099(286)5355

国民年金のお知らせ

年金加入記録や受給手続きなどについての『移動年金相談所』を開設します。

年金相談は、完全予約制です。年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、相談者氏名(旧姓)・配偶者氏名(旧姓)・基礎年金番号・相談内容等を鶴田支所町民福祉係までお申し込みください。

◎年金請求の方は、必要書類を事前に川内年金事務所にご確認ください。

◎本人確認書類(免許証等)をお持ちください。なお、代理の場合は委任状と委任を受けた方であることが確認できる書類(免許証等)が必要です。

◎委任状は所定の様式がありますので、日本年金機構ホームページからダウンロードするか、川内年金事務所、役場本庁町民係、各支所町民福祉係までお問い合わせください。

「広報さつま」をご覧いただき、ありがとうございます。旅行された内容は、1月号でも少し紹介させていただきます。兄弟揃っての旅行、うらやましいですね。(秘書広報係 演)

とってもかわいらしいさつまちゃん弁当にビックリ!頭の部分は、本当にたけのこできているんですね。しかも、もちろんさつま町産!町木のモミジ、特産品のいちご、そして竹の皮のお弁当箱。随所に工夫のあとが見られ、感動しました。ホントに食べるのがもったいないですね!!

でも食べてみたいなあ。(ゆきみんママ 54歳女性)

2月号で紹介させていただいた「さつまるちゃん弁当」。取材でお伺いし間近で見せていただきましたが、本当にかわいいし、おいしそうでした。(秘書広報係 花)

このほかにも、お便りをいただきました。ありがとうございます。

※文章は、添削させていただきました。あらかじめ、ご了承ください。

看護師さん募集!!
&
看護学校奨学金制度
あります!

働きながら資格が取れます!

薩摩郡医師会病院 ☎0996-53-0326

墓石 納骨堂
銘碑の彫り込み
墓石・納骨堂 解体・撤去
お墓のリフォーム

確実な信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居通
さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

前田貴彦法律事務所

初回相談料 30分無料!!

要予約
弁護士が直接面談!!

相続 借金 離婚 交通事故 など

TEL:0995-55-7700

ださい。

・日本年金機構ホームページ
http://www.nenkin.go.jp/n/www/index.html

・川内年金事務所
☎0996(22)5276

※自動音声案内

相談日時
3月24日(火)
午前9時30分から
午後3時30分まで

相談会場 鶴田中央公民館

申込期日
3月17日(火)まで

申込み・お問い合わせ先
鶴田支所 町民福祉係
(内線4112)

1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

たのしょうせい
田野 翔生ちゃん
平成26年3月6日生



東町公民会
父 **優也さん**
母 **満美さん**

両親から一言
明るく元気に
育ってね!!

誕生おめでとう
1月16日～2月15日届出分(16人) 敬称略

あかちゃん 萌 保護者 公民会	松尾 龍信 男 弘人 海老川	柳田 理実 女 道輝 麓	石橋 咲梨 女 昂大 ウッドマン	南 亜梨紗 女 和成 轟原	若森 心優 女 佑紀 京塚原	田野 尻明花 女 佑介 東谷	朝倉 心愛 女 豪太 市場	中園 睦正 男 勝彦 下平川	松下 笑真 女 昇悟 弓之尾	上谷 宗士朗 男 知寛 船木下	上原 宗士朗 男 知寛 船木下	下長 野紘 男 卓 尾原	東新 昊花 女 己幸 町頭	土山 輔久 男 和也 愛宕	小田 修雅 男 英明 一ツ木	川崎 朱里 女 俊一 五日町	小坂 健琉 男 清輝 東谷
-----------------	----------------	--------------	------------------	---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	--------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------

おやみあげ
1月16日～2月15日届出分(28人) 敬称略

なくなつた人 年齢 公民会等	小野原イソ子 88 東町	上牧瀬幸子 81 湯田下	鬼塚 佳子 60 新田	前田 仁 84 布田	日高 弘光 84 下平川	野尻由美子 62 東湯田原	松崎 睦男 82 船木西	宮里安産男 83 豆漬	東郷 辰巳 85 西町	二階堂静子 90 東谷	上之原秋満 84 下京塚原	花北 和弘 62 新町	山口 末次 81 飯屋原	岸良 房子 82 浅井野	宮脇 艶子 93 角郷	川原 東園 81 西手
----------------	--------------	--------------	-------------	------------	--------------	---------------	--------------	-------------	-------------	-------------	---------------	-------------	--------------	--------------	-------------	-------------

※「誕生、おやみあげ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

なくなつた人 年齢 公民会等	廣瀬 正巳 71 東谷	富満 茂子 80 紫尾中	室屋 宮城 92 湯田中	山下 朋江 44 山崎中	本田 幸子 79 東町	白川田ムツ 92 広瀬	上之原美昭 87 諏訪下	有村 辰良 70 あながわ	久保 晶 92 大薄上	中間 和夫 58 時吉中城	副 ヨシ 91 鶴田町	河野ハルエ 94 橋掛
----------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------	---------------	-------------	---------------	-------------	-------------

News コーポラス さつまるちゃんが facebookで町をPR

さつまるちゃんfacebookを開始しました。さつまるちゃんイメージキャラクター「さつまるちゃん」が出演したイベントなどさつまる町の情報をfacebookから発信していきます。

QRコードを読み取れる方はこちらから→

2月子牛せり市結果 期日：2月3日(火)～4日(水) (消費税抜き、売却分) (単位：頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対1月分)
めす	263	160,494,000	947,000	610,243	276	34,047円高値
去勢	329	203,378,000	864,000	618,170	295	20,692円高値
合計	592	363,872,000	947,000	614,649	286	26,643円高値

読者プレゼント さつまるちゃんぬいぐるみを差し上げます!

お便りをお寄せくださった方の中から、5人にプレゼント。たくさんのご応募お待ちしております。

【応募締切】
3月25日(水) 消印有効

町長の動静 (平成27年1月) ※主な会議及び行事を抜粋 (各課・局との内部会議は省略)

31日(土)	市町村と県医師会、鹿児島大学病院との意見交換会 (鹿児島市)
30日(金)	町女性団体連絡協議会第10回女性大会
29日(木)	県知事と町村長との地方自治振興促進懇談会 (鹿児島市) 来客対応 (川内川河川事務所) 各任命権者との意見交換会
28日(水)	電源開発(株)九州電力所への要望活動(人吉市) 町校長会研修町長講話
27日(火)	農業後継者祝金贈呈式 町茶生産協会通常総会
26日(月)	日特宮之城工場自衛消防隊出初式 臨時議会(議案2件) 寄付者への感謝状贈呈
25日(日)	課長会 平成26年度事業現地調査
23日(金)	町女性団体連絡協議会第10回女性大会
22日(木)	議会全員協議会
21日(水)	当初予算町長査定(23日まで) 水道事業入札 人・農地プラン及び農地中間管理機構との交流会
20日(火)	交通安全一万人街頭立哨 森林組合系統運動推進委員会 (鹿児島市) 来客対応(吉玉精鏡社長)
19日(月)	市町村職員共済組合理事打合せ会 (鹿児島市)
16日(金)	職員朝会 課長会・庁議 木原晃一先生旭日双光章受勲を祝う会
14日(水)	北薩空港幹線道路・国道328号・川内川環境整備九州地方整備局長要望 県福岡事務所観光PR等訪問(15日まで 福岡市)
13日(火)	水道事業入札 県町村会幹事会来庁対応 川内川屋形船乗船体験
11日(日)	町消防出初式・各分団出初式祝賀会(湯田・鶴田・神子各分団) 全国都道府県対抗中学校バレーボール大会入賞報告 職員等新年交流会
9日(金)	町内立地企業年始あいさつ回り(16社) 来客対応(九州電力副社長・郷土史研究会)
8日(木)	県観光連盟新年互礼会(鹿児島市) 県北薩地域振興局・税務署・法務局・河川事務所ほか各庁年始あいさつ回り(薩摩川内市)
7日(水)	県庁・県議会・県警本部・県町村会ほか年始あいさつ回り(鹿児島市)
6日(火)	来客対応(日特社長・県議・伝統工芸センター理事長・同朋保育園園長・宮之城病院理事長) 子牛せり市
5日(月)	町成人式(男子196人・女子117人 計313人) 町内官公庁等年始あいさつ回り
4日(日)	第62回新春泳ぎ初め
1日(木)	平成27年仕事始め式(本庁、消防署、鶴田・薩摩支所) 町内官公庁等年始あいさつ回り

町長コラム 日高政勝

3町連携

平成の合併前においては、郡単位の行政事務の連携をとるための町村組織(例：薩摩郡内に7町4村の薩摩郡町村会)がありました。合併によって1郡1町になり、連携組織もなくなりました。

合併して10年を迎える中で、時代の変遷に伴って新たな課題も発生している現状にあります。もちろん、自分たちのまちのことは自分たちで判断、決定し、その責任を持ち、まちの実情に沿った行政を展開していくという地方分権社会に入っていくはずが、相互に共通した課題が存在していることも事実です。

このようなことから、比較的地理の近い出水郡長島町、始良郡湧水町と本町の3町による県北部地域の一郡一町行政連絡会議「さつ・長・湧水連絡会議」を昨年1月設立。年1回情報交換をすることになりました。

若手職員の研修・交流会など、特にこれからは「地方創生事業」を中心に、共通の行政課題解決に連携して取り組むことにしています。

いちき りの
市來 璃乃さん

求名小学校6年



心も体も助けるたくましい医者を目指します

私の将来の夢は、医者になることです。

私が医者を目指すきっかけは、祖父が少しの間、入院したことでした。お見舞いに行ったとき、病院には色々な人が寝ていました。子どもから高齢者まで、予想を超える多くの方がたくさんいました。これを見て、私は医者の大変さがよく分かり、そして、そのがんばるたくましい医者を目指したいと思いました。私は、心も体も助けるたくましい医者になります。



竹紙を使用しています
 (竹パルプ 10%配合)

休日在宅医

3 月

- 8日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
- 15日 鬼丸整形外科 ☎56-8811
- 21日 林田内科 ☎53-1177
- 22日 相良医院 ☎53-0160
- 29日 木原医院 ☎52-2700

4 月

- 5日 立志病院 ☎55-9119
- 12日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326

休日薬局

3 月

- 8日 青空薬局 ☎52-0101
- 15日 きりん薬局 ☎52-2033
- 21日 ウチ薬局 ☎53-0063
- 22日 うさぎ薬局 ☎52-4116
- 29日 みやんじょ薬局 ☎52-4650

4 月

- 5日 フタヤ薬局 ☎59-2033
- 12日 青空薬局 ☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による

- 人口 22,604人 (-24人)
- 男 10,486人 (0人)
- 女 12,118人 (-24人)
- 世帯数 9,708世帯
- 転入 34人 転出 38人
- 出生 15人 死亡 35人
- (平成27年2月1日現在)
- ()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。